

トップ > 導入実績 > 東宝ツインタワービル

東宝ツインタワービル



東宝ツインタワービル

本物件は築後37年が経過し、給水管にSGP（亜鉛めっき鋼管）を使用しているため赤水の発生がありました。

しかし、配管更新には莫大な費用が必要な上、配管更新時に必要な断水工事はビル内の業務上行うことができず、配管の修繕ができませんでした。

そこで、配管更新の1/10で導入が可能で、赤錆を流出せずに黒錆化を行うことで配管内の赤錆を防止し、配管内の更生が可能なNMRパイプテクター®が採用されました。

NMRパイプテクター®設置前は、配管内の水中の鉄イオン値は2.2mg/ℓ、色度50度を示していました。

しかし、NMRパイプテクター®設置2ヶ月後には完全に赤錆の溶出は止まり、設置3ヵ月後に配管錆中の黒錆質量分析を行うと、63.5%の黒錆が確認できました。



クーリングタワー二次側冷却水配管 PT-200DS

導入概要

建物名	東宝ツインタワービル
所在地	東京都千代田区
建物概要	築37年、オフィスビル
給水方式	加圧給水方式
設置工事	2000年11月16日 2001年8月23日 2002年4月19日
設置配管/設置数	量水器二次側給水配管(SGP管 80mm)/PT-75DS×1セット 加圧ポンプ二次側給水配管 低層階用 B4F-3F(SGP管 80mm)/PT-75DS×1セット 加圧ポンプ二次側給水配管 高層階用 4F-9F(SGP管 40mm)/PT-50DS×1セット

加圧ポンプ二次側給水配管 高層階用 4F-9F(SGP管 65mm)/PT-75DS×1セット
地下水槽二次側冷却水配管(SGP管 50mm)/PT-50DS×1セット
クーリングタワー二次側冷却水配管(VP 200mm)/PT-200DS×1セット

質量分析試験検査

東宝ツインタワービル3階男子トイレの配管内の錆を2000年7月24日に採取し、28日に質量分析試験検査を行った結果、黒錆重量は63.5%でした。

平成 12 年 8 月 1 日

質量分析試験検査成績書

日本システム企画株式会社 殿

平成 12 年 7 月 21 日試験依頼により提出された試験品について行った質量分析試験検査結果は下記の通りです。

記

試験品の名称	東宝ツインタワービル 3F 男子トイレ導入配管内錆スケール (平成 12 年 7 月 24 日 採取試験品)		
検査配管設置場所	東京都千代田区有明町 1-5-2 東宝ツインタワービル 3F 男子トイレ		
検査日	平成 12 年 7 月 28 日	検査依頼者	東宝不動産株式会社

質量分析試験検査の成績

項目	測定値 (重量 %)
マグネサイト (黒錆)	63.5

以上

1 - 28 東宝 ツインタワービル

+ 質量分析試験検査をPDFでみる

